

# 令和6年度 自己評価・学校関係者評価報告書

学校法人大浦学園 門司こぼと幼稚園

## 1. 本園の教育目標

健康でたくましい身体と豊かな感性と知性を育む。

## 2. 本年度の重点的に取り組む目標・計画

環境を活かした異年齢の関わりの充実。

園外保育を充実化し、様々な豊かな経験の保障。

身近な自然体験を中心とした、好奇心を持てるような環境構成。

積極的な研修参加と研修内容を活かした保育の実践。

## 3. 評価項目の達成及び取り組み状況

教育方針・園内組織 A 健康・安全 B 言葉・表現 A

子どもとの関わり A 学級運営・環境 B 研修 C

家庭との連携 B

総合評価 B

評価 A：達成している B：一部達成している C：一部改善を要する D：改善を要する

評価内容	評価	評価の理由や取り組み内容
健康・安全	B	坂道や起伏のある園庭環境の中で過ごすことで、遊びの中であっても、幼児自らが安全に気をつけて遊ぶ姿が見られた。 月に一度の避難訓練を重ねることで速やかに行動できる力がついた。 天候に合わせた活動を実施。外遊びの充実。
言葉・表現	B	季節のうた、わらべうたへの取り組みについては概ね評価できる。来年度以降は、伝承あそびの研究実践を行い、学ぶ環境の改善に取り組む。 研修で得た知識を職員間で共有・実践。
研修	C	園外研修に参加し学んだ内容を園内研修で教職員が共有することで保育の質の向上が見られた。専門分野の研究により、質高い保育の実践が必要。 更なる向上のために、来年は課題分野について研究・考察を実施し、改善を試みたい。

評価 A：達成している B：一部達成している C：一部改善を要する D：改善を要する

#### 4. 幼稚園評価の具体的な目標の総合的な評価結果

評価 A: 達成している B: 一部達成している C: 一部改善を要する D: 改善を要する

評価	理由
B	季節の自然にたくさん関わるなど外遊びの充実が図れたが、室内の環境構成について課題。 来年度はより異年齢での自然な交流がはかれるような工夫をしていきたい。 園外保育については昨年度より充実させることができた。来年度も多様な経験を確保したい。 研修について、来年度はより多くの研修に参加し実践する事で園全体の質の向上に繋げたい。

#### 5. 今後取り組む課題

課題	具体的な取り組み方法
言葉・表現	幼児が自由に経験したことや考えたことをいつでも表現できるような環境を構成。 幼児とともに感動する体験の充実。絵本やわらべうたへの取り組み強化。
保育計画・実践	幼児の興味や関心を適切に捉え、幼児の心の動きを大事にした保育の実践。 実践後の振り返りに力を入れ、連続性のある保育に繋げる。
研修・資質向上	園外研修の充実。多くの研修に参加し、職員間での共有を徹底する。 自己課題をもって保育技術の向上に日々努める。
子どもとのかかわり	幼児が自ら考えて行動できるように見守り、必要に応じて配慮を行う。 園内の安全確保。園外保育ではルールやマナーを守れるような言葉かけ。
学級運営・環境	外遊びでは、自然に関わり探求心を持てるような工夫。 室内では幼児の発想を大切に、興味のあるものを見つけ追求できるような環境構成。

#### 6. 学校関係者評価委員会の評価

いつもよりよい保育をできるよう、常に努力して下さりありがとうございます。  
保護者ともいつも対話して下さって、信頼関係を築いてくださいました。  
安心してお任せする事ができました。ありがとうございました。

委員会実施日 令和7年3月27日

学校関係者評価委員

学校関係者評価委員

学校関係者評価委員